

住宅借入金等特別控除計算明細書の記載例 (特定增改築等) 住宅借入金等特別控除申告書兼 (特定增改築等) 給与所得者の

この記載例は、令和3年分の年末調整において(特定増改築等)住宅借入金等特別控除を受ける場合の『給与所得者の(特定増改築等)住宅借入金等特別控除申告書兼(特定増改築等)住宅借入 入金等特別控除計算明細書』(以下『控除申告書』といいます。) の書き方の例です。この『控除申告書』を計算明細書として使用し、確定申告書に添付する場合も書き方は同じです。

「残高等証明書』に記載されている住宅借入金等の年末残高をその証明書の「住宅借入金等の内訳」欄 には、2か所以上の金融機関等から『残高等証明書』の交付を受けている方は、その全てに基づい (3)住宅及び土地等 40,500,000 月間 39,500,000 $\times - \times \times - \times$ 25 N 住宅取得資金に係る借入金の年末残高等証明書 智 土地等のみ 春 8 × 日来で K, K щ H 0 魯 (A) Ŵ # # # 住宅のみ M 速帯债務者 今和2 今和27 今和 ... 吊 띮 E 居住用家屋の取得の対価等の額 又は増改築等に要した費用の額 柘 年末残高 当初金額 弄 K A Ш 出 8 监 のかっこ内に記入しま 住宅取得資金の借入 神 排 住宅借入金等の金額 ゼ れ箏をしている 倒 × K Ēπ 迤 弄 ₩ (権要) 爾通 重複適用(の特例)を受ける方は、 ニの説明を参考に記入します。 餡与の支払者に提出してください。 8 加砂漿等に係る 回信入金等の計算 $\bigcirc \bigcirc$ $\bigcirc \bigcirc$ B税 木即·本人 ②と②の少ない方 8 8 給与所得者の(特定増改築等)住宅借入金等特別控除申告書 大部分 (最) 申告します。 特定增改築等住宅借入金等特別 の発音だの連点が落め、(記者の) 田原体質・だりでは出てい場の裏的(8.例)の発音だら無値では、近外ではからを実現に経過を下の単分を対象の建しては、(3.例)では、(3.の単のでは、(3.の単のでは、(3.の単のでは、(3.の単のでは、(3.の単のでは、(3.の単のでは、(3.の単のでは、(3.0))というには、(3.0)といいは、(3.0)といいは、(3.0)といいは、(3.0)といいは、(3.0)といいは、(3.0)といいは、(3.0)といいは、(3.0)といいは、(3.0)といいは、(3.0)といは、(3.0)といは、(3.0)といいは、(3.0)といいは、(3.0)といいは、(3.0)といいは、(3.0)といいは、(3.0)といは、(3 ◎住宅及び土地等 100.0 %)(注1) 兼(特定增改築等)住宅借入金等特別控除計算明細書 39,500,000)と (回+団) 又は (母+団) の少ない方 控除を受ける方が記入します。 19,750,000 19,750,000 19,750,000 8,800,000 50.00 %) に係る借入金等の計算士 地等のみ ◎住宅及び 『控除申告書』の提出を受けた給与の支払者が記載します。 次のとおり(特定増改築等)住宅借入金等特別控除を受けたいので、 あなたの住所又 は 昭 所 (フリガナ) あなたの風名 年間所得の見権額 (3,000万円を超える聯合は 数学の適用がありません。) ②と因の少ない方 (% (% 100.0 ×-×-×00を00 野祭又は購入に宅のみ 回土 ○○株式会社 E Ê (最高 4,000 万円) 円 197,5 00 万円) 19,750,000 1 1 1 (最高 400,000 (% 9 100.0 超磁) 6 ②と諸田事項の取締対価の顕文は結 段 祭 等 の 養 用 の 盤 の ② いず だ か 少 な い ガ の 街 越 器中の対抗権 の名称(氏名) 給与の支払者の法人番号 給与の支払者の所在地(住所) 年 名 権 人 省 等 の 年 米 談 画 (回 の シ た 単 済 債 院 の 盟 + (回の少ち連帯((誘の)超×[連帯((誘数)位))) 的 値 入 付 等 の 弁 米 数 順 等 (の) 値 の の い い 世 数 () 総付補収験等の費用の留に係る 年 先 備 入 街 尊 の 年 米 級 雨 箏 (団 と 固 の の 少 な い カ)(注 5) 野祭、購入及び建改祭等に係る住 先 値 大 鉛 等 の 年 米 数 폔(内、繊維債務による値入他の題) 特定値吸禁等の費用の額 ~ 排 住宅借入金等特別控除額 割命 ш この欄は、 如 松 紫 H 無 年分 (3#2) 税務署長 年末調整の際に 喦 آ 齊 **各和3** 奪

○横に転記します。

E H E

[控除申告書]

住宅借入金等の借級えをした場合において、借級えによる新たな住宅借入金等 (一定の要件を満たすものに限ります。)の当初金額が借機え直前の当初住宅借入金等残高を上回っている場合には、次により計算した金額を『控除申告書』の①欄に記入します。 連帯債務による住宅借入金等の年末残高がある場合は、連帯債務による住宅借入金等の年末残高を①欄 の区分に応じて記入します(⑤の区分に該当する住宅借入金等の年末残高と偽、側又は⑩の区分に該当す る住宅借入金等の年末残高を共に有する場合には、最寄りの税務署にお尋ねください。、 本年の住宅借入金等の年末残高×間数スほ師がヨか正も旧へエエヘベ 本年の住宅借入金等の年末残高×

「 () 欄の④の居住用割合と⑥欄の④の居住用割合」又は「 () M欄の④の居住用割合と () 傭の場の④の居住用割合と () が異なる場合は、下の算式により計算した i と ii を合計した割合を () 欄の④のかっこ内に記入します。なお、割合は小数点以下第4位まで算出し、小数点以下第4位を切り上げて記入します (下の算式により計算した場合には「備考」欄の書き方も参照してください。)。 (算式)

左記の方が、令和2年分の所得税について次のとおり(特定増改築等)住宅借入金等特別控除の適用を受けていることを証明します。

ш

0

0 稅務署長

3 #

各和

×-××-×届∇∇HOO

操

大郎

国税

年末調整のための (特定増改築等) 住宅借入金等特別控除証明書

令和3年分

П (の又は他の割合) (〇の割合) (回の金額又は①の金額+⑮の金額) (回の金額又は①の金額) (回の金額又は①の金額+ :=

⑤欄及び⑦欄は、特定増改築等住宅借入金等特別控除を受ける方が記入します。

家屋に関する事項 出数等対値の額 (2居住用割合) 自連布性統制合 (2取得対値等の額) 2居住用割合 | し通布性統制合

50.00

0 00

12, 500, 000

50,00

11,000,000

⑤ 居住開始年月日

② 居住開始年月日

特別特定)

における控除政度額

福 吹 乗 や M ず る 事 項 ・ 環境数等の費用の額 図 m を意味を等のを用の値 図 B 住 用 割合 | 回 通常債務割合

豊政祭等に関

証明事項の各欄は、令和2年分の申告に基づいて記載しています。

体身から新学館の学琳の豪琳、いら会譲り川町のいが召祀と何わら、派体母の名誉編集の新学館と知るとももでくたい消費へ加強で、

E

200,000

数を扱う

沙神田田県 (寿寿)

- . (特定增改築等)住宅借入金等特別控除の重複適用(の特例)を受ける方は、『控除申告書』の重複適用 1枚目及び重複適用2枚目の<mark>③欄の(特定増改築等)住宅借入金等特別控除額の金額を合計して、その合</mark> 計額を重複適用1枚目の<u>重複適用(の特例)を受ける場合の(特定増改築等)住宅借入金等特別控除額欄</u>[記
- 「備考」欄の記入に当たっては次によります。 災害によりその家屋を居住の用に供することができなくなり、翌年以後、引き続き控除を受ける場合 には、「災害発生日 令和〇年〇月〇日」と記載します。 〇幡の④のかっこ内の記入に当たり、上記ロの第式により計算した場合には、算式に当てはめた計算 O
 - を書きます。なお、「備考」欄に書ききれない場合は、適宜別紙に記載して添付してください。